

北通遺跡 第78地点

| | |
|------|--|
| 遺跡名 | 北通遺跡 |
| よみがな | きたどおりいせき |
| 調査地点 | 第78地点 |
| 主な時代 | 弥生時代後期末 |
| 調査地 | 富士見市針ヶ谷1丁目23-8 |
| 調査面積 | 499 m ² |
| 調査期間 | 平成28年4月6日～22日 |
| 調査内容 | <p>【確認された主な遺構】 弥生時代後期末の竪穴住居跡5軒</p> <p>【出土した主な遺物】 弥生時代後期台付甕、壺、土製紡錘車</p> <p>【概要】</p> <p>富士見市針ヶ谷の武蔵野台地上に広がる北通遺跡は、旧石器時代から近世までの各時代にわたって数多くの遺構・遺物が確認されています。調査した第78地点はこれまでの周辺の調査結果から、調査前から多数の遺構が確認されることが想定されていました。</p> <p>調査の結果、調査区北側半面は掘削により遺構は確認できませんでしたが、南側半面だけでも弥生時代後期末～古墳時代初頭にかけての住居跡が5軒確認できました。なかには床面から炭化材が多く確認できた住居跡もあり、焼失住居と考えられます。</p> |



第78地点全景



出土した土製紡錘車



調査風景



完掘した弥生時代住居跡